

シリーズ：3. 11 後、メディアは何を伝えてきたか

ETV特集「ネットワークでつくる放射能汚染地図

福島原発事故から2か月」制作者が伝えなかったこと

3月11日の東日本大震災からまもなく半年を迎えます。津波の被害はまだ生々しい傷跡を大地に残したままで、新聞に毎日掲載されている被災者の数は、今でも死亡の数が少しずつ増えており、一方で行方不明の数は4千人以上のままであまり減らない状況です。

しかし先日、相馬市を訪ねたら、津波が通った後は土がえぐられ、運ばれてきた車がぺしゃんこになって転がっている横で、津波の被害がなかった所では稲作を再開できたのか、青々とした稲が風にそよいでいました。亡くなった方たちにも見てもらいたいと夏祭りを開催した地域も多かったようです。少しずつ明るいニュースも入ってくるようになりました。

一方で、東京電力福島第一原発事故による被害は未だに全貌がわからず、収束どころか進行形であり、場所によっては今後10年、20年もの間、自分の家や土地には戻れないという見通しが先日政府から発表されました。放射線量が人体、特に子どもたちにどういう影響を与えていくのか、土壌や水の汚染の実態はどうなのか、農業や漁業への影響はどうなっていくのか、誰もが漠然とした不安を抱えながら毎日を過ごしているのではないかと思います。

このような事態の中で、何をどう伝えていけばよいのか、この半年間、メディアに携わる者として様々な局面で、皆さん悩みませんでしたか。今年度の例会のテーマのひとつに「3.11後、メディアは何を伝えてきたか」を掲げました。毎回、講師を招いてお話を伺うとともに、会員の皆さんとも意見交換をしたいと思っています。

今回は2011年度の「JCJ」大賞を受賞したNHKのETV特集「ネットワークでつくる放射能汚染地図 福島原発事故から2か月」のチーフプロデューサーをお招きします。ぜひ多くの皆様のご出席をお待ちしています。

日本女性放送者懇談会2011年度会長 柳田祐子

開催日時	2011年9月13日(火) 19時00分 (受付開始 18時40分) 終了予定時刻 20時30分
会場	NHK放送センター ブリーフィングルーム (本館4F) ※当日は、西口玄関に集合の上、担当者がご案内します
申し込み方法	http://sjwrt.org/ の申し込みフォームより受け付けます。◎締切：9月11日

講師：増田 秀樹さん (NHK)

- 1963年 生まれ。早稲田大学政治経済学部政治学科卒。
- 1988年 NHK入局。
番組制作局、大阪放送局等に勤務。「その時 歴史が動いた」「NHKスペシャル」等のチーフプロデューサーを経て、
- 2009年 より現職。「ETV特集」総括チーフプロデューサー。
2006年 「歴史の選択 赤穂浪士～討ち入り組VS討ち入り不参加組～」で橋田壽賀子賞受賞。
2009年 ETV特集「シリーズ日本と朝鮮半島 2000年」でギャラクシー賞特別賞受賞。
2010年 NHKスペシャル「密使 若泉敬 沖繩返還の代償」で芸術祭大賞受賞。
2011年 ETV特集「ネットワークでつくる放射能汚染地図 福島原発事故から2か月」でJCJ大賞(日本ジャーナリスト会議賞大賞)受賞。